

鳥栖駅周辺デザインWG 『第1回 ワークショップ』 開催報告

日時 2026年5月26日（火）18:00～19:45
場所 鳥栖スタジアム（駅前不動産スタジアム）
参加人数 15名

開催概要 鳥栖駅周辺地区の未来を、地域の皆様と共に考える

鳥栖駅周辺地区の活性化に向け、地域で活動されている皆様にご参加いただき、実現可能性を重視したワークショップを開催した。ワークビジョンズの西村氏より駅周辺の現状と駅周辺の整備構想案に関するレクチャーを受けた後、参加者の皆様が知見と経験を活かし意見を出し合い、今後のまちづくりの方向性について考えた。

－ プログラム －

- 18:00～ 開会
- 18:05～ 鳥栖駅東側短期施策の検討状況について
- 18:10～ 本日のワークショップの議論ポイント
・鳥栖駅東側の現況と提案（※事例等の話題提供）
- 18:20～ グループワーク
 - ①どんなスポーツができればいいか
 - ②スポーツに加えて、
どんな機能・施設があったらいいか
 - ③ここで、みなさん自身ができることは何か
 - ④その他、意見交換および取りまとめ
- 19:15～ 意見内容の発表
- 19:30～ 総括
- 19:45～ 閉会



鳥栖駅東側の現況と提案の説明



ワークショップには計15名が参加

検討内容 “駅東側活性化案”と”駅周辺全体構想”の検討

鳥栖スタジアムやサロンパスアリーナ等の大型スポーツ施設が立地する鳥栖駅東側エリアの活性化に向けて、どのようなスポーツ施設があれば賑わい創出につながるかについて、全3班に分かれて意見を出し合い、駅周辺の地図を用いて配置を検討した。

その後、鳥栖駅周辺を一体的に賑わいを広げていくため、駅の西側と東側、および駅舎内にどのような機能・施設が必要となるかについて意見を出し合い、地図上に配置した。

地図上に配置したスポーツ施設や機能・施設からなる駅周辺の構想案を共有し、参加者それぞれがこの構想案において自分たちが担うことのできる役割について意見を出し合った。

最後に、各班の構想案について発表し、ワークショップを閉じた。

グループワークの流れ

①どんなスポーツができればいいか



②スポーツに加えて、どんな機能・施設があったらいいか



③ここで、みなさん自身ができることは何か



④その他、意見交換および取りまとめ



ワークショップの流れを説明

▼ワークショップの様子



▼発表の様子



A班



B班



C班

A班の意見結果

テーマ1 どんなスポーツができればいいか

鳥栖駅東側エリア

フットサル

ビーチバレー

スケートボード

ランニング

モルック

ピククルボール

ヨガ・体操

スポーツ鬼ごっこ

パンナ

アスレチック

ハンモックネット

スラックライン

鳥栖駅西側エリア

・希望するスポーツ無し

テーマ2 スポーツに加えて、どんな機能・施設があったらいいか

鳥栖駅東側エリア

スポーツ道具貸出し **日常**

パブリックビューイング広場（アウェイ時）

イベント時

スポーツ×ファッション（古着・雑貨店） **日常**

日常的に気軽にスポーツができたり、試合がない時でも盛り上げられるきっかけがあるとイイ！

隙間の時間を過ごせる場所があると人が滞留する。

鳥栖駅舎内

待合い **日常**

観光案内 **日常**

カフェ **日常**

仕事・勉強 **日常**

展示ギャラリー **日常**

読書 **日常**

鳥栖駅西側エリア

ラウンドワン **日常**

映画館 **日常**

若い世代が楽しめる娯楽機能がなく、週末も市外に出かけてしまうことがもったいない。

鳥栖駅周辺エリア（全体）

・希望する施設・機能無し

日常：日常時に必要だと思う機能・施設

イベント時：イベント時に必要だと思う機能・施設

テーマ3 ここで、みなさんが自身ができることは何か

参加者①：イベントの企画・広報（モルック・鬼ごっこなどの大会やイベント）

参加者②：工業団地企業との連携呼びかけ

参加者③：カフェの紹介

参加者④：子ども会・鳥栖商業・久留米大へのPR



A班のまとめ

A班は、鳥栖駅東側エリアはスポーツの聖地（拠点）として子どもから高齢者まで、誰もが取り組むことができる多様なスポーツが候補として挙がった。

特にサガン鳥栖・久光スプリングスの拠点であることを表徴する「フットサル」「ビーチバレー」のほか、若者のニーズが高いものの、騒音等の問題で滑る場所がなく、断念されがちな「スケートボードパーク」があると、日常的に人が集まると思う、といった意見があった。

その他、サガン鳥栖のアウェイゲームを皆で集まって観戦できるパブリックビューイングができる大型スクリーンがあると、スタジアムでの試合がない日でも東側エリアに足を運ぶ機会が増えるとの意見や、アーバンスポーツはストリートカルチャーファッション、アート、音楽との親和性が高いことから、古着や雑貨店などの出店ニーズも生まれるのではないか、という意見もあった。

駅舎内には、「観光案内のある待合い」「鳥栖の喫茶文化（昭和の時代のレトロな純喫茶など）を展示するギャラリー」「仕事や勉強ができるスペース」「読書」「カフェ」といった滞在空間機能があるとよい、という声、駅西側のエリアには、ボウリングや室内型スポーツ施設（スポッチャ）、カラオケ・ゲームセンターなどが集まるラウンドワンや映画館などがあると、休日に佐賀市や福岡市に人が流れることがなくなる、という意見が出された。

A班が自ら実施できる内容としては、イベントの企画や広報、工業団地の企業への連携協力依頼などが提案された。

B班の意見結果

テーマ1 どんなスポーツができればいいか

鳥栖駅東側エリア

ランニング

モルック

BMX

スケートボード

3×3 (バスケ)

プール (駅近く)

セパタクロ

アスレチック

ハンモックネット

鳥栖駅西側エリア

・希望するスポーツ無し

テーマ2 スポーツに加えて、どんな機能・施設があったらいいか

鳥栖駅東側エリア

街灯 (ライティング) 日常

駐車場 日常 イベント時

大屋根 日常

ドッグラン 日常

重要だと思う以下の4つの機能をセットで整備。

若い世代の利用が考えられる機能。

鳥栖駅舎内

読書 日常

カフェ 日常

ミーティング 日常

室内遊び場 日常

展示ギャラリー 日常

仕事・勉強 日常

観光案内 日常

待合い 日常

鳥栖駅西側エリア

・希望する施設・機能無し

鳥栖駅周辺エリア (全体)

給水所

セグウェイ

日常 : 日常時に必要だと思う機能・施設
イベント時 : イベント時に必要だと思う機能・施設

テーマ3 ここで、みなさんが自身ができることは何か

参加者① : 東側エリアでの**イベントの企画**、無人カフェの実施、ヨガピラティスの紹介

参加者② : 整備予定の大屋根 (駅東側エリア) での**音楽イベントの開催**

参加者③ : 整備後の駅周辺エリアを**商工団地へPR**、**周辺企業へイベント開催時の協力呼びかけ**

参加者④ : 東側エリアの**スポーツ施設の運営管理**の協力

参加者⑤ : 観光案内所に設置する**観光地図の作成協力**



B班のまとめ

B班は、鳥栖駅東側エリアの賑わい創出に向けて、**多くのスポーツに関する意見が上がったため、9つのスポーツを選定**した。

選定したスポーツの中でも、スケートボードなどは専用施設が必要となるため、こうした**特殊な施設が整備されることで、市民にとって駅東側の重要度が高まる**と考えられた。

東側エリアでスポーツ機能を充実させるにあたり、**夜間や雨天でも利用できるよう街灯や大屋根の整備が必要**との意見が上がった。そのほか、駐車場やドッグランなどの機能についても意見が上がった。

西側エリアについては、**駅舎内の充実させるための意見が多く上がった**。駅舎内には、**市民の重要度が高い「読書」「カフェ」「室内遊び場」「展示ギャラリー」の4つの機能をセットで整備**することが望ましいとの意見があがった。加えて、**若い世代に駅を利用してもらうため、「ミーティング」と「仕事・勉強」の機能が必要**との意見があった。そのほか、「観光案内」や「待合所」の意見も上がった。また、駅周辺でスポーツ利用が増えることを想定し、「給水所」などの整備があると良いとの意見もあがっている。

B班が自ら実施できる内容としては、**広場整備後の企業へのPR**や東側エリアの賑わい創出に向けた「音楽イベント」「ヨガピラティス」などの**イベント開催**があげられた。さらに、**スポーツ施設の運営・管理への協力**や**観光地図作成への協力**といった意見もあがった。

C班の意見結果

テーマ1 どんなスポーツができればいいか

鳥栖駅東側エリア

ウォーキング

スケートボード

ハンモックネット

サイクリング

フットサル

パデル

鳥栖駅西側エリア

・希望するスポーツ無し

テーマ2 スポーツに加えて、どんな機能・施設があったらいいか

鳥栖駅東側エリア

イベント時
スポーツ教室・大会 日常

日常
スポーツバー

日常
ドッグラン

イベント時
バーベキュー

イベント時
フェス・音楽ブース

イベント時
マルシェ

日常
木育・植物

日常
ビール工場

イベント時
コンテナハウス 日常

日常
サウナ

日常
SNS映えする空間

お酒や音楽を楽しむ空間整備。

コンテナハウスを活用してフードや
雑貨が楽しめるマルシェを検討。

鳥栖駅西側エリア

日常
読書

日常
待合所

日常
カフェ

日常
仕事・勉強

日常
観光案内

現状足りない機能・施設。
特に若い世代からの利用に期待して、
機能拡充を行ってほしい。

鳥栖駅舎内

・希望する施設・機能無し

鳥栖駅周辺エリア（全体）

・希望する施設・機能無し

日常：日常時に必要だと思う機能・施設
イベント時：イベント時に必要だと思う機能・施設

テーマ3 ここで、みなさんが自身ができることは何か

参加者①：鳥栖市民が何を望んでいるかを市場調査

参加者②：市役所や県議・市議会と協力し、業者・ボランティアの募集

参加者③：久留米大学生の利用促進に向け、ポスター・SNSでの発信・宣伝、学園祭での呼びかけ

参加者④：ウォーキング・サイクリングコース等の運動施設利用について、市民へPR

参加者⑤：東側エリアでのマルシェ・スポーツ大会の企画・運営



C班のまとめ

C班は、鳥栖駅周辺エリアの活性化に向け、気軽に始められるスポーツ施設やエリア一体として新規導入すべきものなど、参加者自身が主体的に関わる視点からのアイデアが提案された。

まず、駅東側エリアのスポーツ利用に関しては、「ウォーキング」や「サイクリング」等の誰もが手軽にいつでも楽しめるものを重視した意見が挙げられた。さらに、サイクリングロードの整備や距離標（サイン）を設置したお散歩コース、芝生広場にドッグランを整備した場合、新たな施設との連携の仕方など、スポーツ×健康増進で日常利用が可能となるアイデアが挙げられた。その他にも、近年愛好者が増えてきている「スケートボード」や「パデル」といった新しいスポーツの意見に加え、誰もいないスタジアムを眺めながら外気浴ができるサウナの設置など、具体的かつユニークなアイデアも挙げられ、議論の深掘りができた。

スポーツ以外の文化・交流機能については、東側エリアに「クラフトビール醸造所」や「音楽フェスが開催できるブース」などを設け、賑わいの中心地とする案が挙げられ、駅西側エリアにおいては、不足しているとされる図書館のような静穏な空間の必要性が指摘され、「勉強や読書ができる場所」や「カフェ」、「観光案内所」の設置が提案された。

C班が自ら実施できる内容としては、参加者が自らの専門性を活かす形で、市民ニーズを把握するための市場調査、SNSを活用した情報発信、マルシェやスポーツ大会の企画・運営、さらには専門家として行政との交渉を担うといった、非常に実践的な協力案が述べられた。